

昭和二十二年六月十二日

(第三種郵便物認可)

令和四年十一月十三日発行

(毎月一回十三日発行)

定価 五〇〇円

第974号

高知

龍

高知  
龍跳書道会

第七十八卷

12

月号

伊  
藤  
東  
海  
書

本來淡薄難從俗。  
縱入紛華亦絕塵。

壬辰年夏月  
伊藤東海書

本来淡薄難從俗。  
縱入紛華亦絕塵。

顛沛匪虧性 靜情逸心動  
躬汎逃影性 鄭情逸心易  
神疲守真志 滿逐物意移  
神瘦守真志 滿逐物意移

顛沛匪虧性 靜情逸心動  
神疲守真志 滿逐物意移

## 智永真草千字文

千字文は、りょう梁の武帝わていが殷鉄石いんてきせきに命じて王羲之おうぎしの書かずの中から重複じゆふしない一千個いっせんの文字もじをうつしとらせ、更に周興しゅうこう嗣しに命じて、それを順序じゆじゆだてて列はべ脚韻くぎをふんだ文章ぶんじょうを作つくらせた。智永ちえいが写うした千字文はすなわち周興しゅうこう嗣し本ほんである。

福原曉雲書

野寺分晴樹山亭過晚霞春深無客到一路落松花

野寺分晴樹山亭過晚霞  
春深無客到一路落松花

大八木洋女書

未嘗他塘是夢階  
可接葉已秋聲

洋女士

梅  
川  
桂  
龍  
書

客  
山  
外  
路  
青  
月

客  
路

青  
山  
の  
外

梅川桂龍書

水行舟前緑

こうしおう  
りょくすい  
緑水の前

福 原 曉 雲 書

寒雀暖声有り  
かんしやくなんえい あり



福原曉雲臨

智永真草千字文

心動神疲



江西澄翠書

蝶山洞原生樹  
即精也  
杜御  
生

門田惠子臨

我金蘭及室山集會  
一處是高人詣大師  
東漢書

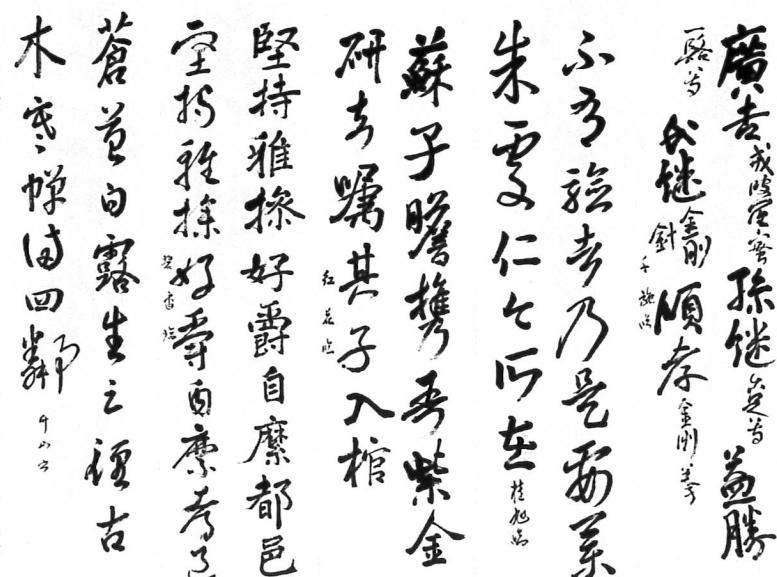
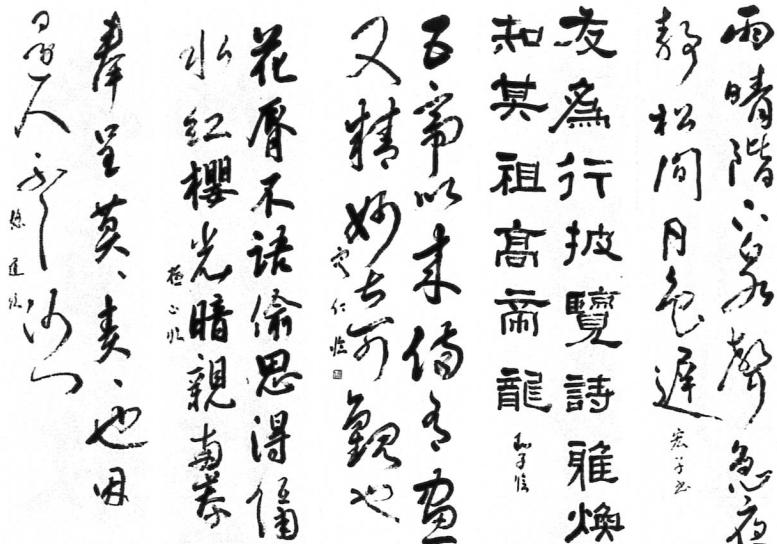
大八木 洋女 臨

受真教於上賢探贊  
妙門精究粵業

洋女临

岩河里華臨

使持節饒州諸軍事  
饒州刺史上輕車  
至孝



## 条幅当選作品

梅川桂龍 選評

### ★天位

丸田宏子君てら 衡い無く、自然体で明るい。

田村和子君たむら おおらかな運筆で氣脈貫通の作。

岡本空仁君おかもと いつもながら大胆な運筆で躍動感あり。

西山極山君にしやま 手馴れた筆致で重厚味あり。

伊吹悠道君いぶき 楽に臨してすつきりしている。やや一本調子か。

### 地位

大石千施君おおいし 安定した書きぶりで風趣あり。

北村桂旭君きたむら 良く研究され、忠実の作。

岩崎竹山君いわさき もつと上の位の筆力を持つている方、作品

### ★人位

坂本碧香君さかもと 落ち着いた臨。この調子でじっくりと書き込んでください。

岩崎竹山君いわさき もつと上の位の筆力を持つている方、作品が一本調子になり過ぎたか。

作品は毎月20日必着  
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◇

11月の審査は27日(日曜)午前9時30分に開始します。審査会場は高知城ホールです。

遠初  
山雪  
の

中学一年課題  
廣末幽念書

文古

明代

幸福  
券引

小学五年課題  
隅田亘心書

# 北寒 国い

用火

心の

市  
場



12月20日締切

小学一年・ようち・ほいく課題

市原處艸書

つ

る

学 校 名	賢治は、石灰肥料会社の共
年	に歩き回る。セールス
級段	改良に役立つものだつたので
氏名	それを広めることが農民のた めになると考えたのだ。

学校名	さ	い	弟	と	妹	が	わ	い	言
五 年	だ	し	た	の	で	、	お	み	つ
級段	も	う	自	分	の	ね	だ	り	さ
氏名	た	ち	た	ち	だ	り	ご	と	ん
	く	は	な	く	一	生	け	ん	め
	て	は	り	、	け	い	、	こ	い
	は	ま	せ	ん	め	い	、	こ	ろ
	ま	せ	ん	で	ん	め	い	も	も
	せ	ん	で	し	た	。	子		

学校名	ゴールを決めた選手が走っています。ユニホー									
四年	ムは風をはらみ、口を大きく開けて、全身で喜び									
級段	を表しながら走る選手の									
氏名	様子がよく伝わります。									

学校名							
年	三						
級段							
氏名							

秋にはかえて、がま  
すみぬるでの葉。どう  
げからふもとまで美しく  
色づきました。すすきの  
光る一ころは、ため息の出  
る、よいながめでした。

がっこう	ゆつ	の	出	船	アイ
二 ねん	く	し	て	み	イ
きゅう うん なまえ	り	、	た	い	。
	す	、	い	。	。
	す	お	、	。	。
	む	か	け	。	。
	。	あ	む	。	。
	。	さ	り	。	。
	。	ん	を	。	。

9×5

発売元・湖筆堂

☎(882)1454

がっこう	まつ	からす	に	みんな
一 ねん	くろ。	月よ	び	な
きゅう だ うん		り	き	赤
なまえ		も	だ	い
			け	はの



お知らせ

☆第76回県展（高新記載順）

褒 状 堀 内 仁 峰

無監査 大 黒 仙 雲

"

福 原 晓 雲

入 選

"

武 内 美 仁

福 原 晓 雲

"

"

大 原 晓 雲

福 原 晓 雲

"

"

岡 崎 村 容 桂 舟

福 原 晓 雲

"

"

河 間 桂 堂

福 原 晓 雲

"

"

佐々木 港 緑 水

福 原 晓 雲

"

"

深 嵐 容 園

福 原 晓 雲

"

"

前 嶋 容 堂

福 原 晓 雲

"

"

松 本 秀 絵 華

福 原 晓 雲

"

"

前 田 綠 絵

福 原 晓 雲

審査会場は高知城ホールです。

12月25日(日)に予定しておりました、

忘年会はコロナの影響で中止になりました。

審査会は午前9時30分からに、

変更になりました

花重錦	花重錦	花重錦	花重錦
官城	官城	官城	官城
<small>吉田清園</small>	<small>吉田清園</small>	<small>吉田清園</small>	<small>吉田清園</small>
花重錦	花重錦	花重錦	花重錦
官城	官城	官城	官城
<small>美賀峰</small>	<small>美賀峰</small>	<small>美賀峰</small>	<small>美賀峰</small>
花重錦	花重錦	花重錦	花重錦
官城	官城	官城	官城
<small>桂園君</small>	<small>桂園君</small>	<small>桂園君</small>	<small>桂園君</small>
花重錦	花重錦	花重錦	花重錦
官城	官城	官城	官城
<small>孝北</small>	<small>孝北</small>	<small>孝北</small>	<small>孝北</small>
花重錦	花重錦	花重錦	花重錦
官城	官城	官城	官城
<small>千晶君</small>	<small>千晶君</small>	<small>千晶君</small>	<small>千晶君</small>
花重錦	花重錦	花重錦	花重錦
官城	官城	官城	官城
<small>仁美君</small>	<small>仁美君</small>	<small>仁美君</small>	<small>仁美君</small>
花重錦	花重錦	花重錦	花重錦
官城	官城	官城	官城
<small>慶子君</small>	<small>慶子君</small>	<small>慶子君</small>	<small>慶子君</small>

(一・二段目) 福原曉雲 選評  
澄翠君<sup>ノ</sup>筆先利かし、メリハリ付け  
て氣品有り。

賀峰君<sup>ノ</sup>一点一画慎重な運筆で安定  
する。

桂園君<sup>ノ</sup>堅実な運筆で明るい作。  
花梢君<sup>ノ</sup>骨格が強く安定している。

里園君<sup>ノ</sup>少し速書きの感、もう少し  
丁寧に。

清園君<sup>ノ</sup>いい作品だが冠の終筆短く。  
氣になります。

(二・三段目) 前田秀華 選評  
美賀君<sup>ノ</sup>整然とした作品で佳。

花道君<sup>ノ</sup>生氣あり、はつらつとして  
いる。

孝北君<sup>ノ</sup>線質が伸び活動的。

千晶君<sup>ノ</sup>字に若さがあり、屈託のな  
い運び。

桂月君<sup>ノ</sup>淡々と書いて明るい。

(三・四段目) 大八木洋女 選評  
広人君<sup>ノ</sup>力強い線が出ています。

絵君<sup>ノ</sup>伸びやかで楽しそうです。

仁美君<sup>ノ</sup>力が抜けていて明るいです。

啓子君<sup>ノ</sup>線の強弱がよく出ています。

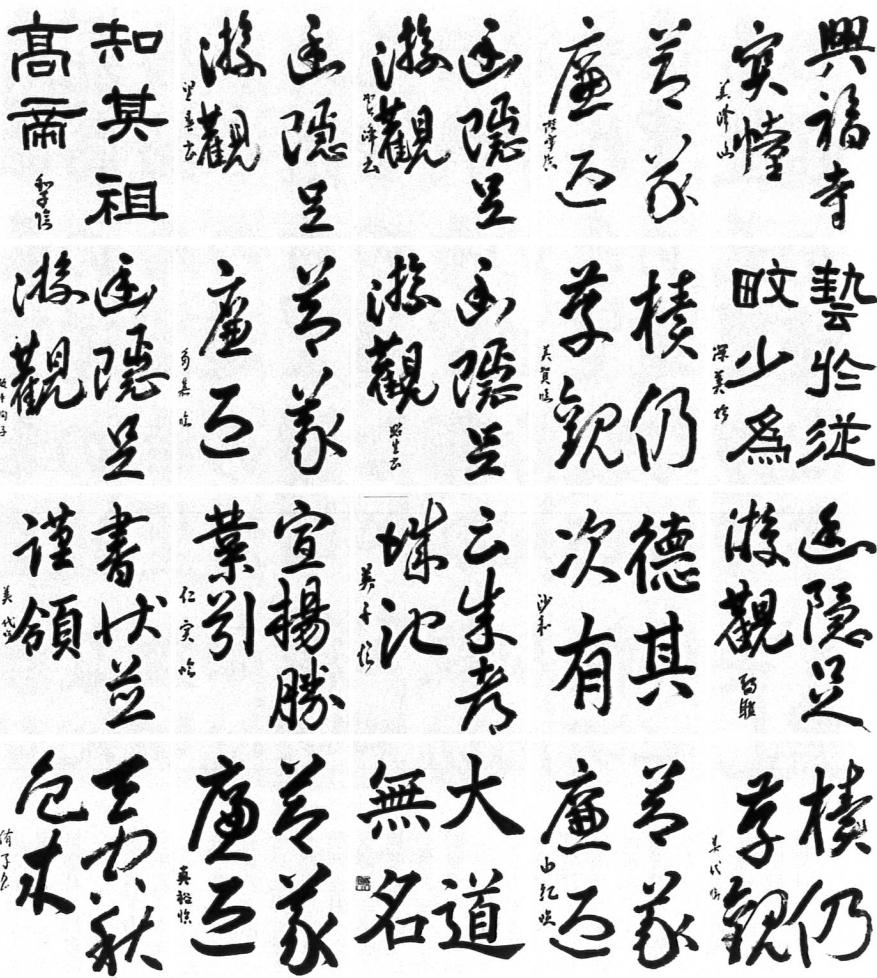
由紀君<sup>ノ</sup>墨色良く、線が伸びやかで  
す。

幸三君<sup>ノ</sup>線に心がこもっています。

(四段目) 岡林邦心 選評  
清辰君<sup>ノ</sup>用筆法のうまさと、強い線  
がすばらしいです。

慶子君<sup>ノ</sup>しつかりとした書きぶりで  
す。

美香君<sup>ノ</sup>やさしく眞面目な作。



(一・二段目)

廣末幽念 選評

美峰君||筆力あり充実した作。

桂峰君||線に練度あり余裕の作。

賀峰君||手慣れた書きぶりで氣脈も

望春君||字形が安定していく落ちつ

和子君||運筆のリズムが軽快で安定

した作。

深美君||線美しく明るい。

美賀君||伸びやかな線で丁寧な臨。

昭生君||練度が高く練習の跡がみら

れる。

多嘉君||堅実な臨書態度、今後に期

待。

絢子君||筆力あり安定した臨。

啓助君||真面目に臨して作品も明る

い。

(三・四段目)

塙地桂峰 選評

沙和君||力強く流れも良し。

英子君||真面目な作。

仁実君||力強く堂々とした作。

美代君||軽快な臨書で明るい。

美代君||大胆な運筆で力強い。

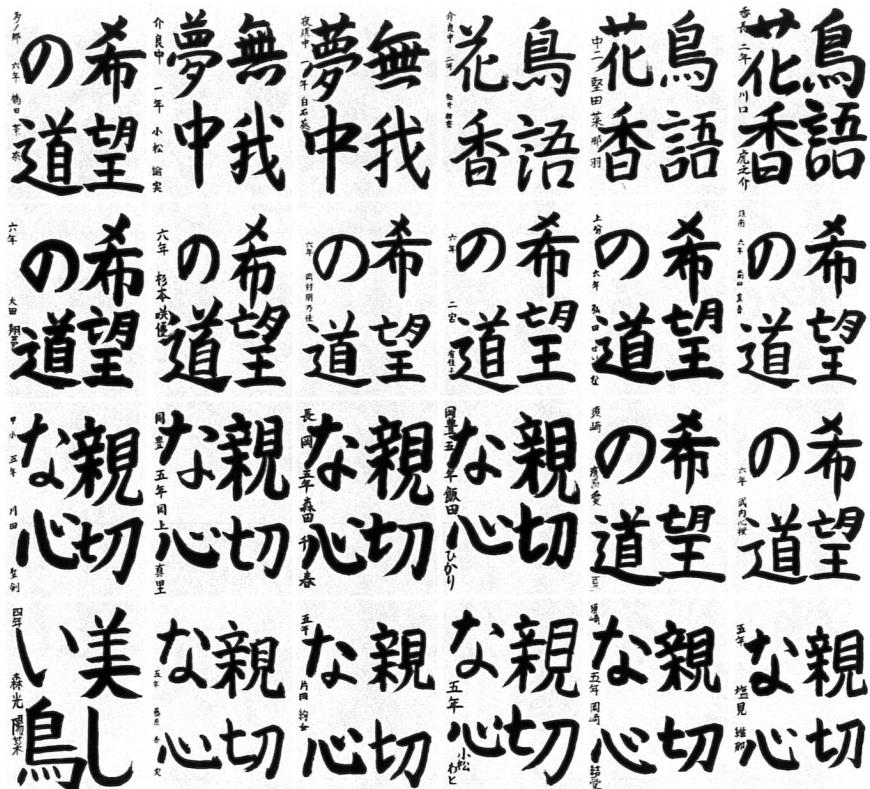
由紀君||筆力あり、明るい作。

(四段目) 武内美仁 選評

清美君||真面目さが伝わってくる作。

真裕君||流れよく、まとまっている。

侑子君||線強く、明るい作。



(一段目) 中学校部

西山極山

選評

虎之介君|| 大きくゆつたりとした作品。名前の位置考へて。  
菜那羽君|| 本文のまとまり良い。名前の位置考へて。

柏奈君|| 行書の形とらえている。この調子でがんばつ  
て。

葵君|| 力強い作品です。

論実君|| 本文のまとまり良い。名前の位置考へて。  
(一・二・三段目) 小学六年 大原桂園 選評

茉奈君|| いねいに書け、よく整った作品です。  
真音君|| 落ちついて書けています。

有佳子君|| まじめに書けました。  
朋乃佳君|| のびやかで明るいです。

咲優君|| 力強く、ていねいに書けています。  
翔夢君|| 元気に書けています。余白に気をつけて。

心桜君|| のびのびしています。

愛夏君|| 大らかに書けました。

深瀬綠堂 選評

(三・四段目) 小学五年  
ひかり君|| 思いつきり書けています。  
千春君|| ゆつたりと大きく動いている。

眞里君|| 今少し字を小さくすると良い。  
聖剣君|| 左の払いはゆつくりと。

維那君|| ていねいによく努力されている。  
結愛君|| 力強い線、この調子で。

わと君|| もう少しうつくり書いてみて下さい。  
絢女君|| 最後まで丁寧に。

杏実君|| 力強くよくまとめています。  
(四段目) 小学四年

陽菜君|| 力強くよくまとめている。

河村容舟 選評



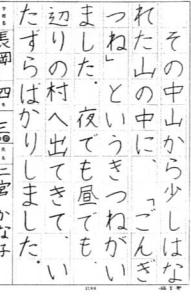
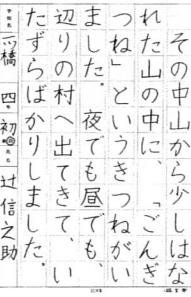
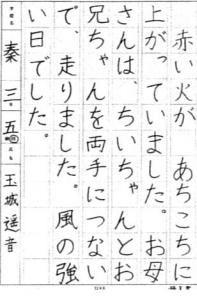
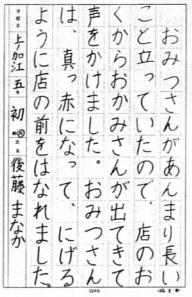
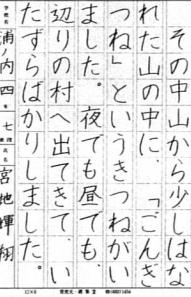
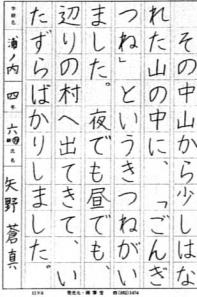
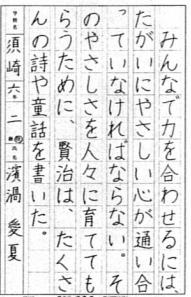
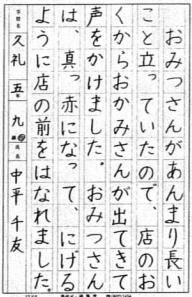
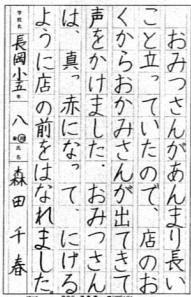
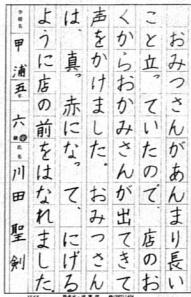
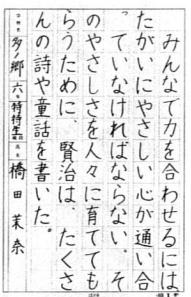
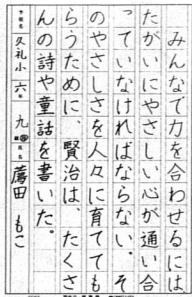
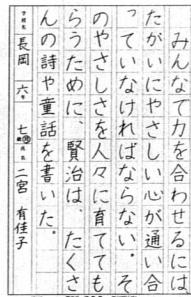
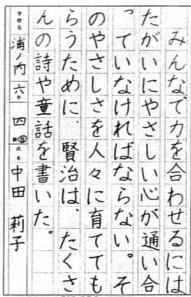
# 硬筆優秀作品

長岡  
浦ノ内  
二宮有佳子  
中田  
莉子

長岡  
森田  
川田  
聖剣

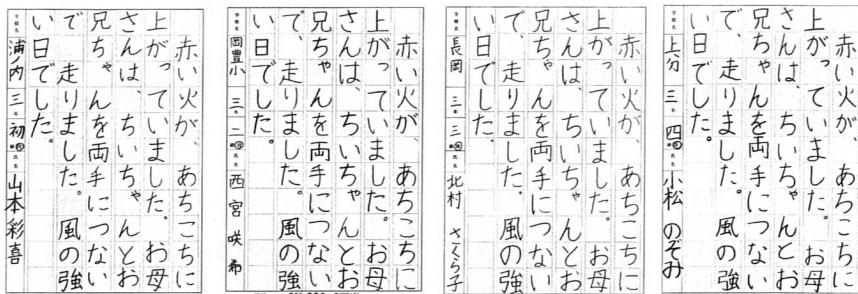
浦ノ内  
矢野輝翔  
宮地蒼真

秦一ツ橋  
辻信之助  
玉城遥音



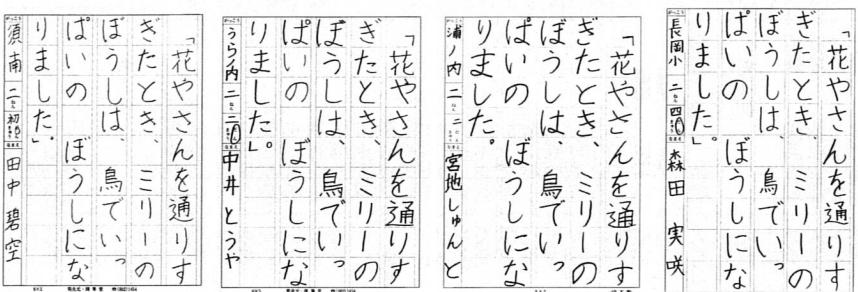
# 硬筆優秀作品

上分 小松 のぞみ  
長岡 北村さくら子



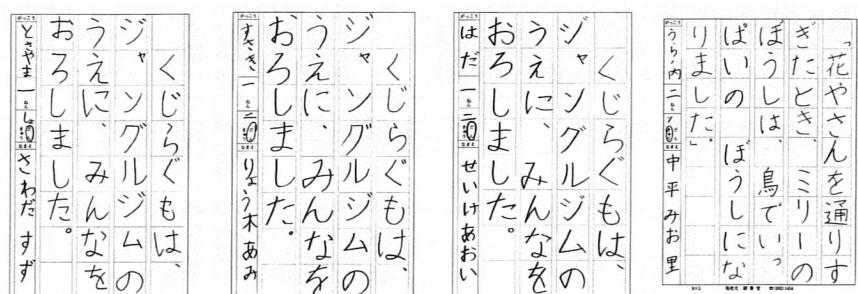
岡 豊  
浦ノ内 西宮 咲希  
山本 彩喜

長岡 森田 実咲  
浦ノ内 宮地しゅんと



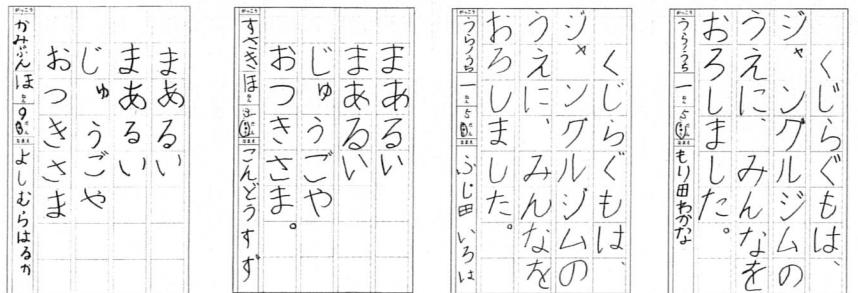
須南 うらノ内  
田中 中井とうや  
碧空 田中碧空

うらノ内 中平 みおり  
せいけあおい



とさき すさき  
さわだ りょう木  
あみ すず  
かみぶん すさき  
よしむらはるか こんどう すず

うらのうち もり田  
もり田あかな  
いわかな



第935回 競書成績

○印規定・随意共通昇級

条幅

番查 梅川 桂龍

★天位

★推薦

※岡本空仁  
※西山極山  
※伊吹悠道  
大原桂園  
大平圭子  
弘田賀峰  
亀井司郎  
山川百合  
中平美峰  
武政幽  
岡林邦心  
水田紅子

※江西澄翠  
※門田惠子  
※大八木洋女  
※岩河里華

※※※北村桂華  
大井淳  
西内仁子  
河村容舟  
別役美佐  
横山桂華  
横田仁美  
藤原朱鳳  
山脇佳月  
市原處艸  
山本恵歩  
岡田雄山  
岡林翠堂  
浜崎洋輔  
大崎勝洋  
山脇佳月  
高橋由美  
光希望春

小笠原広人 祥芳春  
岩村 芳春

須崎洋知筆知

審查  
稿

規定

★人位

中城康華

佐須香久旭上須久大高越窪須大旭旭旭吾久  
川南北礼筆加南礼野知知川崎野筆筆筆桑礼  
見見

須波山安須旭須旭山南王旭久久  
崎介田芸崎筆崎 田国子筆札札

中村里櫻  
堅田清園  
浜崎洋堂  
別役美佐  
山崎旭峰  
高橋朱鳥  
木本恵歩  
桑原智子  
芳春綠  
西村芳香  
山中紅風  
氏原美泉  
池田碧泉  
野羽花  
佐竹江月  
天野喜泉  
森萩春  
望春  
矢野峰臣

高旭中東旭仁東久大須佐安須佐旭  
知筆公洋筆淀洋礼野南川芸崎川筆  
川見

★審査 山山旭山越旭池吾多旭仁山山久越高吾桑  
田田筆田知筆川桑多ノ筆淀川郷

大野美賀  
岡村玉水  
小野山美喜  
岩崎竹山  
田村昭生  
下元里花  
中沢里花  
伊吹悠道  
藤原朱鳳  
濱田貴志子  
岩谷紅花  
横山友香  
山川百合  
大平圭子

段 前田 丸田 横山 松浦 明子  
前田 中恵風 桂華 宏子  
秀華 田村 田中 恵風  
大崎 西内 仁子  
森 紫陽 仁子  
令泉 大崎  
芝田 西内  
春琴 仁子  
岡田 芝田  
桂樹 仁子  
芳 岩田  
北村 芝田  
政德 仁子  
片岡 仁子  
橋松 仁子  
大石 田中  
門田 田中  
岡田 田中  
桂旭 田中  
吉田 雄山  
深美 惠子  
吉田 雄山  
桂草 惠子  
大井 田中  
吉田 田中  
深美 田中  
美草 田中

旭旭旭越 大旭佐窪野鷹須窪南  
筆筆筆知野筆川川市ノ崎川川国  
見巢

仁旭窪須香窪明久窪室久越佐  
淀筆川川南北川石礼川戸礼知川  
川

池川千晶  
山脇佳月  
津野恵泉  
高橋伸水  
松本世津  
山村星子  
田村順子  
西森啓助  
武政幽雅  
濱田翠園  
高橋隆志  
木崎初惠  
久保地輝  
大井淳代

戸田孝北 岡林翠 坂本絢子 亀井司郎 吉永光翠  
浪上理奈 岩村祥 岩村妙慧 岡村康華 中城康  
笠原多嘉 西村由香 浜恵子 原華翠 岡村妙慧  
鎌倉春菜 桥本祝子

仁阿東須中窪中東仁中藤  
淀淀波洋崎淀礼崎公川公洋淀公沢  
川川 川

★ 初  
南香中中窪  
国北公公川

★ 二  
旭山旭旭香  
筆田筆筆北

渡部由紀 山崎幸三 大原紀美子  
松島利恵 井上増水 高橋由美 横川美代  
植田愛菜 政岡喜久美 吉村久美子 和田恵美  
前田伸枝 中田花穂 山本房 品原律子

段 段  
岡本薰山 濱田幸子  
岡澤沙和 中澤英子  
坪内倫子 林 杉 井 村 田 启 子  
上 知 勢 子 本 美 代 隆 光

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切つて下さい。  
★臨書は出典名を記入のこと。

# 小学部

毛筆六年

審査 大原 桂園

★特待生

橋田茉奈

多ノ郷 須南  
浦ノ内 正木希実

★八段

弘田せいな  
押岡岳登

上分 長岡  
蓮池 吾桑

須崎 前田真音  
浦ノ内 正木希実

★七段

刈谷天海  
松浦由奈

二宮有佳子  
植村晴陽

谷 愛莉

長岡 上分  
須崎

★六段

杉本咲莉

一ツ橋岡村朋乃佳

池川 大田翔夢  
上分 くぼ田愛生  
多ノ郷 今橋 蕾

★三段

★二段

一ツ橋 武内心桜  
吾桑 中越悠守

須崎 前田真音  
浦ノ内 正木希実

★一段

毛筆五年

審査 深瀬 緑堂

須崎 池川

★九段

岡豊 飯田ひかり

馬路 一ツ橋

別府 越知

★二段

別府 ○藤原杏実

一ツ橋 飯田桃萌

上分 長岡  
須崎

★六段

西森美陽

岡豊  
長岡  
安井風葵

岡上真里

猪野雛子

甲浦 川田聖剣  
谷口彩心

須崎 塩見維那  
藤原乙羽

永尾 麻庵

多ノ郷 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

新莊 鍋島

浦ノ内 宮地

須崎 輝翔

★五段

多ノ郷 森光陽菜  
森光陽菜

須崎 島見維那  
西田紗菜

須崎 鶴井創太  
岡崎結愛

池川 戸波

須崎 岩崎

(出晶票)

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

第665回 硬筆成績

○印は昇級

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙  
書道用具萬般乞来店

(株)



高知市南宝永町14-18

TEL (代) (882) 1394番

夜間・TEL (882) 1392番

硬筆五年

審査 森本 寿山

★九段

久礼 岡豊 飯田ひかり

★八段

長岡 浦ノ内 宮本千春

★七段

浦ノ内 美島乙世花 戸波森田千春

★六段

須崎浦ノ内 森田千春

上分 長岡 浦ノ内 宮本千春  
内橋 浦ノ内 宮本千春

★五段

西森美陽 安井風葵

浦ノ内 越知豊知浦  
内橋 内橋杏女里那

★四段

川田片岡米澤知那  
田北岡龍暉真知那

★三段

猪野雛子岡本大陸

★二段

池川藤原乙羽

★一段

一ツ橋○飯田桃萌

硬筆五段

一ツ橋 德平温郎

★三段

越知一ツ橋 岡田侑最

★二段

長岡岡豊 越知一ツ橋

★一段

西田紗菜庵 永尾西田紗菜庵

★初段

浦ノ内上加江後藤まなか

★五段

浦ノ内寺田澤見

★四段

浦ノ内日向須崎浦ノ内

★三段

別府○藤原杏実

硬筆四年

審査江西 登翠

★八段

浜田渡部一翔 濱田渡部一翔

★七段

新莊藤沢新莊藤沢

★六段

多ノ郷多ノ郷 森光陽菜鍋島萬綜

★五段

浦ノ内上加江宮地輝翔

★四段

浦ノ内寺田澤見

★三段

浦ノ内田中日向須崎浦ノ内

★二段

池川藤原乙羽

★四級

須崎須崎 上分弘田みゆ

★三級

南宮本里依美 西山あい

★二段

長岡二宮嘉奈子

★一段

越知大原瑠心森田大翔

★初段

浦ノ内志磨村彩山下斗愛

★五段

浦ノ内藤田結愛真

★四段

浦ノ内戸梶愛加朝比奈来夢

★三段

須崎○土佐山澤田理

★三級

城東大谷北 ○持田和花

★二級

須崎○庄武聖愛

★一段

別府城東○庄武聖愛

★七級

硬筆三年

ふぞく○三本晴士

審査市原處艸

★五段

秦泰多ノ郷

★四段

秦泰多ノ郷

★三段

秦泰多ノ郷

★二段

谷前江田田辺桜來

★一段

須崎小松のぞみ

江ノ内安並乃愛

浦ノ内口下村並李衣

★一級

潮見須賀勇介

★三級

多ノ郷山村速人

★二級

上ノ加江○岩田愛菜

★五級

浦ノ内○久保田健介

★六級

藤沢○久保田健介

★七級

岡豊○田所萌羽

長岡北村さくら子  
須崎○山崎流依  
久礼○山崎流依  
浦ノ内美島希以花  
浦ノ内竹内陽南子  
森岡にじ花

のり代  
4年  
12月  
毛筆

七  
名

保  
年

田  
多

卷  
三

のり代

4年  
12月  
硬筆

校  
名

氏

段  
級



★九級

○よしむらはるか  
おひさま○  
もりみつれんたろう

★十級

吾桑○山本ゆきの  
おひさま  
やまむらみおり

お願  
い

○龍跳誌の購読数に変更が

あつた場合

「○○月号から○○冊」  
と、お申し出下さい。

(「○○月から○○冊」は)  
（間違いやすいため。）

一隅田亘心一

連絡・問い合わせ・送り先等

新規入会申込と会費の送金先

「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎 一一三一

隅田亘心

龍跳書道会

振替口座番号

01690-3-31925

電話 (〇八八九) 三五一〇九七一一番

月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極

電話 (〇八八八) 八六五一八八五七〇番

「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三一〇四

福原暁雲

電話 (〇八八七) 二九一-一六五〇番

編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話 (〇八八九) 四二一-一〇六七〇番

送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方べゞ連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話 (〇八八九) 四七一〇七二一一番

## 窪川教室三十年

資金のメドが立つて私は車庫の二階部分を居宅（八畳二間）にして水場、トイレ付きの部屋を教室に使う予定で新築した。私は下元塾での経験から①家族には迷惑をかけない、②教室生の経済的負担はなるべく軽くする、③練習日は月二回で可、④教室生は全員龍跳書道会に所属する。この原則の元、ほぼ十名の教室生（全女性）と共にスタートする。

さて次はカリキュラム。楷書は谷渕先生の手による素朴で力強い「規定」の課題で学び、行書は見て分かり易い王羲之の「聖教序」の臨書から始めた。草書の孫過庭の「書譜」はまだまだ、その二年後のことになる。必修は以上とし、他の法帖の選択はもつと後のこと。

爾來三十年、色々な事があつた。

忘れ得ぬ一つは忘年会である。飲んで食つて皆でワイワイ騒ぐ事が好きな私は、忘年会は忘

れず約二十年間も続けた。飲んで食べて踊つたあげくはカラオケ。これ忘年会のお決まりコース。最高潮は佐賀温泉への日帰り修学旅行。J A 窪川婦人部仕込みの演目には温泉の従業員もありの面白さに引き込まれお酌するのも忘れてその渦に巻き込まれてしまつた。

（紙面の都合で詳細は省略）

しかし、思つても残念な事は（師範＝後継者）を一人もよう育てなかつたこと。窪川は米廻・園芸廻。農家の主婦は教室が終つても二郎を刈つていた。そんな人にどうして師範試験を受けよと言えますか。準師は十人を越す人を育てたがそれ以上は私の限界。今となつては心を鬼にしても一人は育てておくべきだつた。残念無念！まさに「刀折れ矢盡きた。」このうえは龍跳書道会の末永い存続と、窪川の皆さんのが張りを祈るより他ない。

保 育	〃 一年	〃 二年	〃 三年	〃 四年	〃 五年	小学六年	〃 一年	〃 二年	中学三年	半紙隨意	半紙規定	一般條幅	部 別	締切日	月 例 競 書 課 題
													十二月二十日	締切日	十二月二十日
つ る	ふ ゆ	市 場	火 の 用 心	寒 い 北 国	福 引 き 券	古 代 文 明	初 雪 の 遠 山		任 意	行 舟 綠 水 前		任 意	一 月 二十 日	締 切	一 月 二十 日
こ ま	か る た	白 い 雪	成 人 の 日	初 日 の 出	天 然 の 美	冬 期 休 暇	風 霜 高 潔		任 意	潮 平 兩 岸 闊		任 意	一 月 二十 日	締 切	一 月 二十 日

## 会 費 の 送 金 に つ い て

会費：半年分 3,000円／1年分 6,000円

## 1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は手料不要)

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

Ⓐ	1 冊～3 冊	80 円
Ⓑ	4 冊～8 冊	150 円
Ⓒ	9 冊・10 冊	210 円

◎会費と龍跳誌代料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ：〒781-1501 真川郡仁淀川町大崎133-1 隅田貢心

・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会  
(お問い合わせ) ☎ 0889-35-0971

○月号 (○冊) より○月号まで○ヶ月分  
誌代 ○円 / 手料 ○円

と記入のこと。

編集室	福原暁雲
发行人	福原暁雲(本部)
中平美峰	江西澄翠
須崎市東古市町二一一六	野島桂山
電話(〇八八九)四一〇三四四四	中平美峰
發行所	安芸郡東洋町河内三〇四
電話(〇八八七)二九一二六五〇	龍跳書道会
電話(〇八八七)二九一二六五〇	印 刷 所 (有)笛岡印刷所
印 刷 所	須崎市東古市町二一一六